

第1章

インフラ長寿命化センター活動報告

1.1 概要

インフラ長寿命化センターの概要を以下に示す。

(1) 目的

センターは、本学部及び長崎大学並びに長崎県、国の関係機関等との連携のもと、道路、河川、港湾、電気、水道、ガスなどのインフラ構造物の長寿命化に関する研究及び地方自治体等への技術支援並びに学生に対する教育支援等を総合的に行うことにより、インフラ構造物の長寿命化を図るための研究拠点を形成することを目的とする。

(2) 業務

センターの上記の目的を達成するために、次に掲げる業務を行う。

- 1) インフラ長寿命化に特化した研究拠点形成に関すること。
- 2) 地方自治体等への技術支援等の地域貢献に関すること。
- 3) インフラ長寿命化に係る学生の教育支援に関すること。
- 4) その他センターの目的を達成するために必要な業務

(3) 組織

平成 21 年度のインフラ長寿命化センター構成員を次に示す。

センター長	松田浩
副センター長	原田哲夫、中村聖三
I 部門 モニタリング・健全度診断	部門長：森田千尋 勝田順一、奥松俊博、田中俊幸、下本陽一
II 部門 補修補強、材料・工法	部門長：才本明秀 原田哲夫、才本明秀、近藤慎一郎、松田浩
III 部門 マネジメント戦略	部門長：山下敬彦 蔣宇静、多田彰秀、山口朝彦、西田渉、森山雅雄、杉本知史

(4) 運営委員会とその組織

センターの運営に係る具体的事項を審議するため、インフラ長寿命化センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。運営委員会は、次の委員をもって組織する。

- 1) センター長
- 2) 副センター長
- 3) 部門長
- 4) 研究企画推進委員会委員長
- 5) その他センター長が必要と認めた者

1. 2 活動状況

以下に本センターの活動について示す。

1) 「観光ナガサキを支える“道守”養成ユニット」中間施報告

平成 21 年度の活動目標を道守養成ユニットにおける長崎県をはじめ他機関との調整、実施運用のためのカリキュラム作成等々に尽力した。また、平成 22 年度に中間報告があるため、中間報告書を完成させた。**第 2 章参照**

2) 建設技術開発助成制度（政策課題解決型）の総合研究報告

平成 20 年度の国土交通省の建設技術開発助成制度に採択された課題「光学的非接触全視野計測法によるコンクリート構造物のマルチスケール診断法の開発」の総合研究報告書を完成させた。**第 3 章参照（概要版）、詳細報告書有り（別冊子）**

3) 平成 21 年度 工学部内萌芽研究補助経費の研究報告

平成 21 年度 工学部内萌芽研究補助経費「“軍艦島”の鉄筋コンクリート造高層建物群の環境劣化調査と安全性評価に関する研究」に採択され、センター職員で協力して実施した。**第 4 章参照**

4) 「地域産業の担い手育成プロジェクト（建設分野）」（文部科学省実施）、「建設人材確保・育成モデル事業（専門高校実践教育導入支援事業）」（国土交通省実施）実施報告

事業内の「地域活性化のためのインフラ長寿命化体験実習」において、道守補修了者の協力の下、地元工業高校生に対して講義、点検演習、現場実習を行った。**第 5 章参照**

5) 外部資金への申請及び獲得

第 6 章参照

6) 研究活動

第 7 章参照

7) 毎月の研究発表会の開催

毎月開催できなかったが 7 回開催した。

回	開催日	担当
第 1 回	4 月 20 日	田辺秀二
第 2 回	5 月 28 日	松田浩
第 3 回	6 月 24 日	才本明秀

第4回	8月4日	山下敬彦、森山雅彦
第5回	9月7日	田中俊幸
第6回	11月17日	原田哲夫
第7回	12月15日	山口朝彦

8) 卒論・修論の共同指導体制

昨年度に引き続き研究内容に関連ある教員間での共同指導体制の実施を試みている。

(例：松田－才本、中村－勝田、松田－森山、松田－森田)

9) ホームページの整備 (対外部)

H19年度に作成したインフラ長寿命化センター、振興調整費の“道守”養成ユニットホームページを定期的にアップした。(管理者：山口准教授)

インフラ長寿命化センターの URL : <http://ilem.eng.nagasaki-u.ac.jp/>

道守養成ユニットの URL : <http://ilem.eng.nagasaki-u.ac.jp/michimori/index.html>

10) 内部向けは ILEM ネットワーク

H19年度に作成した議事記録を電子データとして保管する保管庫を活用している。(管理者：森山准教授)

11) 診断士、土木施工管理士の教材作成

“道守”養成ユニットの道守、特定道守、道守補、道守補助員コースのテキストを作した。平成 22 年度も継続的に作成を進める。

12) 高大連携事業

インフラ長寿命化センターとして、「宇宙からの地球環境観測」(平成 21 年 8 月 4 日 森山雅雄准教授)、「インフラ構造物の長寿命化」(平成 20 年 8 月 6 日: 森田千尋、出水享、西山愛弓、牧野高平) を実施した。

13) 県内市町のインフラデータベース構築への協力

雲仙グリーンロード内の橋梁データベースの構築を行った。